

東備西播定住自立圏域 J R 利用促進協議会 会議録

- 1 日 時 令和5年3月29日(水) 16:00~16:20
2 場 所 赤穂市役所6階 大会議室

3 出席者

(1) 会 員

吉村 武司	備前市長
牟禮 正稔	赤穂市長
山本 高士	上郡町副町長(代理)
守井 秀龍	備前市議会議長
山田 昌弘	赤穂市議会議長
木村 公男	上郡町議会議長
目木 敏彦	赤穂商工会議所会頭
大崎 基弘	上郡町商工会会長

オブザーバー

藤村 忠史	はくほう会医療専門学校 赤穂校校長
田中 薫	備前緑陽高等学校校長
大角 謙二	赤穂高等学校校長
村中 利章	上郡高等学校校長

(2) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：尾崎市長公室長、玉木企画政策課長、庵原企画係長、建部主査
備前市：杉山公共交通課長
上郡町：宮下企画広報課長、高永企画広報係長

4 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 出席者等紹介
- (4) 報告事項
 - ・令和4年度事業報告について
- (5) 協議事項
 - ・令和5年度事業計画(案)について
- (6) その他
- (7) 閉 会

5 議事の概要

尾崎幹事 定刻になりましたので、ただ今から、東備西播定住自立圏域 J R 利用促進協議会第2回総会を開催いたします。
本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。
私は、本日の司会進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の尾崎でございます

ます。どうぞ、よろしく申し上げます。

さて、議事に入ります前に、本日の会議に傍聴の申し出がございます。

会議の傍聴につきましては、本協議会「会議規程」第2条で原則公開となっておりますが、出席委員の過半数の決定により非公開とすることができます

本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めたいと考えております。

また、写真等の撮影希望があれば「会長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたいと考えておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

「異議なし」というお言葉をいただきましたので、傍聴の方にお入りいただきます。しばらくお待ちください。

(傍聴入室)

お待たせいたしました。

それでは、開会にあたりまして、会長であります赤穂市長の牟禮市長よりごあいさつを申し上げます。

牟禮会長

本日は年度末の大変お忙しい中、東備西播定住自立圏域 J R 利用促進協議会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年、J R でダイヤ改正が行われた際に減便されたことを契機に、この協議会を発足させていただきました。

この3月18日にも、J R 西日本でダイヤ改正が行われ、減便になったところでございます。全国的にも不採算路線につきまして、廃止等も議論されておりますが、昨年または今年の減便で通勤や通学、また日中の活動の支障になっております。

これまでも皆さま方のご尽力により、J R 西日本兵庫支社及び岡山支社へ要望活動をさせていただきましたが、今後とも構成員の皆さまのお力添えを頂き、利用促進に向け働きかけをする等の活動をしていきたいと考えております。

発足して1年経過しましたが、引き続き利用促進に向けて皆さま方にご尽力をお願いしたいと思います。

本日は、令和4年度事業報告についてを報告させていただくと共に令和5年度事業計画(案)についてご協議させていただきたい思います。

皆さま方には、どうぞ慎重審議の上、適切な決定がなされますよう、よろしく申し上げます。

尾崎室長

ありがとうございました。

次に、次第3 出席者等紹介に移ります

配布しております配席表をもとに、順番にお名前をお呼びしますので、その場でご起立のうえ、一言自己紹介をおねがいたします。

改めまして、赤穂市より牟禮市長です。
次に、備前市より吉村市長です。
次に、備前市議会より守井議長です。
次に、上郡町より梅田町長の代理で山本副町長です。
次に、上郡町議会より木村議長です。
次に、上郡町商工会より大崎会長です。
次に、赤穂市議会より山田議長です。
次に、赤穂商工会議所より目木会頭です。
なお、本日所要のため、備前商工会議所会頭の寺尾様から欠席する旨、連絡をいただいております。

続きまして、オブザーバーの皆さまをご紹介します。
はくほう会医療専門学校赤穂校より藤村校長です。
次に、備前緑陽高等学校より田中校長です。
次に、赤穂高等学校より大角校長です。
次に、上郡高等学校村中校長です。

なお、本日所要のため、関西福祉大学学長の加藤様から欠席する旨、連絡をいただいております。

続いて、事務局職員をご紹介します。
備前市役所 杉山公共交通課長です。
上郡町役場 宮下企画広報課長です。同じく、高永企画広報係長です。
赤穂市役所 玉木企画政策課長です。庵原企画係長です。同じく建部主査です。
最後に、私、市長公室長の尾崎でございます。

出席者等紹介は、以上です。

それでは、ここからの議事進行は、会長にお願いしたいと思います。
牟禮会長お願いいたします

牟禮会長

それでは、ここから議長を務めさせていただきます。
次第4報告事項に入ります。
(1) 令和4年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局

令和4年度事業報告をさせていただきます。

では、まずお手元に配布しております資料を確認させていただきます。
本日の次第、本協議会規約、配席表、ホッチキス止めしております資料が、右上に資料番号をいれてありますが、『資料1 令和4年度事業報告』『資料2 令和5年度事業計画(案)』『資料3 JR 駅別の乗車人数』その裏面が参考としてJR利便性向上事業の予算資料となっております。

それでは、お手元の資料1「東備西播定住自立圏域JR利用促進協議会令和4年度事業報告」をお願いします。

1. JR西日本への要望活動の(1) 要望書の提出についてです。
こちらは、令和3年10月及び令和4年3月に実施された山陽本線並びに赤穂線

の減便に伴うダイヤ改正について、通学・通勤・通院などの面において利用者の利便性を低下させるだけでなく、住民生活をはじめ経済活動において様々な制約を生じさせるものとして、朝夕の通勤・通学時間帯におけるダイヤの確保や旧ダイヤの復活などを要望いたしました。

11月14日に兵庫支社の國弘兵庫支社長に、11月25日に岡山支社の藤原岡山支社長に、それぞれ要望書を提出しております。

続きまして（2）嘆願書の提出についてです。

こちらは、令和5年3月18日ダイヤ改正により、岡山駅から播州赤穂駅間で昼間時間帯に往復2便の減便になることで、赤穂西小学校に通学する児童や備前緑陽高等学校に通学する生徒等に影響があるので、ご配慮いただきたい旨を嘆願書にて提出いたしました。こちらにつきましては、2月6日に兵庫支社、2月7日に岡山支社へ職員が提出させていただきました。

それでは、裏面をお願いいたします。

2. JR利用促進活動についての説明をさせていただきます。

まず、（1）啓発活動についてです。

令和4年5月27日に、東備西播定住自立圏域内のJR各駅において、JR利用促進を啓発するポスターとのぼりを掲出し、JR利用者に対して、継続してJRの利用を促進する啓発グッズと兵庫ディスティネーションキャンペーンプレキャンペーンPR冊子「兵庫テロワール旅」を配布しております。JR赤穂線では、播州赤穂駅と西片上駅、JR山陽本線では、有年駅と上郡駅で実施いたしております。

続いて、（2）広報掲載についてです。

圏域内で開催するイベント情報を広報紙へ掲載して、イベントの参加時にJRを利用してもらうよう呼びかけを実施いたしました。

続きまして、3. その他活動についてです。

（1）イベントとしまして、JR赤穂線全線が開通し令和4年9月1日に60周年を迎えました。それにあたり、赤穂高等学校の生徒の代表から赤穂駅の駅長に対して花束等贈呈のセレモニーを開催しております。

それ以外に各市町の担当者におきまして、担当者会議で要望書のとりまとめ等を計3回行っております。

報告事項については、以上でございます。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。

ただ今の報告事項について、ご意見、ご質問等ありますか。

（特になし）

特に無いようですので、次の協議事項に入らせていただきます。

協議事項（1）令和5年度事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、続きまして資料2令和5年度事業計画（案）をお願いいたします。

J R西日本への要望活動やJ R利用促進P R活動が主なものとなりますが、まず資料2で網掛けにしておりますのがJ R利用促進活動としまして、圏域内の商業施設でディスプレイキャンペーンのP Rを行うとともに、J Rの電車を利用してもらうようP Rをしていくこととしております。

また、『かみごおり川まつり』や『ひなせみなとまつり』、『赤穂義士祭』など各市町のイベントに市外・町外から電車を使ってイベント参加してもらうようP Rをしていくほか、引き続きJ R西日本の兵庫支社と岡山支社へ要望活動をしていくことを計画しております。

協議事項としてはこの計画（案）をご協議頂きますが、資料めくっていただいて資料3を参考にご覧ください。

こちらは、J R駅別1日当たり乗車人数となります。

2市1町の圏域内にある駅を一覧にしており、それぞれ岡山県の統計年報、兵庫県統計書から集計したものでございます。

一番右の欄が、最新の数値として令和3年度の状況ですが、圏域合計で8,592人となっております。

ご覧いただきましたら分かるように、令和元年度までの圏域合計は約11,000人台で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が広がった令和2年度は8,420人となっており、2千人以上落ち込んでいるという状況で、令和3年度も同じような傾向でした。

つづいて、資料3の裏面をご覧ください。

こちらも参考としまして、東備西播定住自立圏形成推進協議会のJ R利便性向上事業の予算（案）でございます。

本日、この会議とは別で、東備西播定住自立圏形成推進協議会を後に予定しておりますので、そちらでご審議いただく予算となります。

先ほどの事業計画（案）を実施するにあたり、掲記のとおり予算を予定しているものでございます。

協議事項の説明は以上でございます。

牟禮会長

事務局の説明は終わりました。

ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありますか。

（特になし）

無いようでしたら、令和5年度事業計画（案）について、原案のとおり了承することにご異議ございませんか。

（異議なし）

ありがとうございました。

令和5年度事業計画（案）について、原案のとおり了承することとさせていただきます。

ます。

令和5年度におきましても、引き続きこの計画に基づきまして、J Rの利用促進に係る活動を行ってまいります。

つづきまして、次第6その他ですが、この際ですので、皆さまからその他にご意見やご質問などございませんか。

吉村市長、お願いします。

牟禮市長

ご意見、ご質問等ありますか。

(特になし)

事務局からは他に何かありますか。

事務局

この総会の後、午後4時30分より、第31回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたしますので、各市町の市町長様、議長様におかれましては、引き続きご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上です。

牟禮会長

それでは、他にないようですので東備西播定住自立圏域J R利用促進協議会 第2回総会を閉会いたします。

お疲れ様でした。